

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

特定医療法人斎寿会回生病院

57号

2011.3月発行

発行 / 特定医療法人斎寿会回生病院
編集 / 鈴鹿回生病院
所在地 / 鈴鹿市国府町112番地1
TEL / 059-375-1212
FAX / 059-375-1717
URL / <http://www.kaiseihp.com>
編集協力 / TCK Nagoya

- 1 医療の現場から
脳神経外科パート2 / 脳血管障害
- 2 あなたの街のお医者さん
「ほりさわ眼科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内 (三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・疾患別シリーズ ~手根管症候群~
・よもぎガレット
- 6 回生.com
「鈴鹿回生病院の看護部vol.5」
医志蘇通
- 7 Information
・鈴鹿市脳卒中市民講座を行います。

第3回入賞作品「赤ちゃん桜」

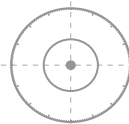
第4回 桜 フォトコンテスト開催!

昨年も好評だった桜フォトコンテストも、今回4回目を迎えます。皆様のご応募お待ちしております。

- 応募方法
・申込み用紙に必要事項をご記入の上、作品と併せて応募箱へ入れていただくか、当院広報委員会宛へ郵送してください。
- 応募箱設置場所
・クリニック受付・小児科プレイルーム・クリニック処置室・病院総合受付
- その他
・写真はA4サイズで印刷してください。縦、横どちらでも結構です。
・作品には必ず回生病院敷地内の桜を入れてください。
- 受付期間
3/23(水)~4/8(金)まで
- 選考方法
作品は附属クリニック多目的室に掲示し、患者さんと審査員の投票結果にて選考します。

第3回 入賞作品





脳神経外科パート②



脳血管障害

Neurosurgery

脳神経外科とは脳、脊髄、末梢神経系およびその付属器官（血管、骨、筋肉など）を含めた神経系全般の疾患のなかで主に外科的治療の対象となりうる疾患について診断、治療を行う医療の一分野です。

当院の脳外科手術件数として二番目に多いのが脳血管障害（脳卒中）です。脳血管障害とは、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に代表される脳の病気の総称です。今号では、くも膜下出血の原因となる「脳動脈瘤」を中心にお話ししましょう。

脳動脈瘤って何？

脳動脈瘤とは、脳の血管にできる「血管のこぶ」のことです。脳の表面にはたくさんの血管があり、太い幹となる血管から細い毛管が枝分かれして脳の組織に血液を送っています。「血管のこぶ」は普通、血管の枝分かれ部分に発生します。こぶができただけでは何の症状も感じません。しかし突然破裂して「くも膜下出血」を引き起こすのです。基本的には中高年者に多い病気ですが、最近は若い方にも増えてきているのが不安なところです。考えられる原因はまだ解明されていませんが、統計でみると、男性より女性に多いことや、高血圧、喫煙、動脈硬化、加齢といった後天的要因や、家族性といった先天的な要因が関わっているようです。

破裂する前の脳動脈瘤

こぶのできている場所によっては破れる前に「ものが二重に見える」「片方のまぶただけ下がってくる」などの兆候がでることもあります。ただ、ほとんどの場合自覚症状がないため、脳ドックなどの健診が有用です。また当院に

おいては最新鋭の3.0テスラMRIにより、かなりの割合で未破裂脳動脈瘤が見つかるケースが増えています。

破裂することで起こるくも膜下出血

普段感じたことのない頭痛、それに伴って吐き気がする、左記の目の症状がある場合は、脳外科や神経内科を有する専門的な医療機関にかかってください。教科書的には、「突然バットで殴られたような痛みが走る」ということなのですが、稀に軽微な頭痛の場合もあります。いったん発症すると脳に重大なダメージが起こり寝たきりや生命にかかわるなどの恐ろしい病気です。

ならないために気をつけること

脳動脈瘤が100%できないようにする予防方法は残念ながら確立されていません。しかし高血圧が悪さをするケースが多いので、血圧の管理をするため



脳神経外科部長・荒木朋浩医師

◆出身大学／関西医科大学／三重大学大学院
◆専門領域／脳血管外科、脳外科一般
◆資格認定等
三重大学医学部臨床講師
日本脳外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本頭痛学会専門医

に、（日本人は塩分を多くとる傾向にあるので）塩分を控えること、また軽い運動でかまいませんので運動する習慣をつけましょう。糖尿病などの持病をお持ちの方や、コレステロール値、睡眠時無呼吸症候群、肥満などをコントロールすることも非常に大切です。

脳血管障害全般にわたって1人でも多くの患者さんを救いたい

血管の細くなっている方や脳の血流が落ちた方に関しては首の血管を拡張したり、頭の皮膚の血管を脳表面の血管につないで血流を改善したりして、なるべく脳梗塞を起こしにくい状態にしてあげること（血行再建術）なども積極的に行うこと。くも膜下出血は破れてしまうとかなりの頻度で亡くなってしまいますので、破れていない状態で問題なく手術を終えて、元の生活に戻れるように、時限爆弾を持っていない状態にしてあげたいと思っています。今後もさらなる治療成績の向上を目指し、地域医療に貢献して参ります。

連携医療機関紹介

ほりさわ眼科



▲ 堀澤 信喜先生

■ 親戚は大学の同級生!?

ほりさわ眼科は、鈴鹿中学の東側にある円柱型のクリニックです。院長の堀澤信喜先生は岐阜県のご出身で、昭和60年（1985年）藤田保健衛生大学医学部をご卒業後、藤田保健衛生大学附属病院、名古屋第二赤十字病院、新居浜精神衛生研究所附属豊岡病院にて勤務医を経て、平成4年（1992年）5月、この地に開業されました。岐阜県出身の先生がこの地に開業された所以を伺うと、「ここは昔『福井外科』がありました。現在は『白鳳クリニック』として診療を続けていますが、実はその白鳳クリニックの福井博志院長の妹が私の妻で、開業を考えていた頃、ここで開業したらどうかと声をかけていただいたのです。また、義理の兄である福井院長は大学の同級生で、さらに彼も同級生と結婚しているので、同級生が義理の兄であり義理の姉という関係なんです（笑）（※回生ニュース29号でも白鳳クリニックを紹介しています）ただ私自身はこの地域の出身では無く、落下傘開業でしたので当初は患者さんも少なかったのですが、義父らの協力もあり徐々に患者さんも増えました。手術・入院も行っ

ていましたがスタッフ不足などの理由もあり6年ほど前から診療のみとなりました」と堀澤先生。現在、先生を筆頭に看護師1名、事務員5名の6人体制で診療を行っています。



■ 地域に密着した開業医を目指しています。

学生時代の親友の父が、当時眼科の教授で白内障の権威だったのがきっかけで眼科医を目指されたという先生。「眼科検診」について伺いました。～健康診断同様に、眼科検診も定期的に受けていただきたいですね。日本人は緑内障をおこしやすいと言われており、20～30人に1人は緑内障であるというデータもあります。自覚症状もほとんどありませんので、気がつかないうちに進行している場合が多いのです。また網膜は人体の中で唯一血管をじかに観察することが可能な組織です。したがって、眼科検診で眼底チェックを行うことで、眼底の動脈硬化や血管炎などの所見は眼の疾患に限らず、循環器や膠原（こうげん）病などの全身疾患の診断にも役立つ場合もあります。視野が狭くなったような気がする、つまづくことが増えた、などちょっとした心配事のある方、当院においては、これはだめ!というものはありません。当院で対応の難しいものは回生病院や鈴鹿中央総合病院のような大病院を紹介します。遠慮無く受診してください。～

DATA

TEL 059-370-2800

住所

鈴鹿市庄野町904の2

診療科目

●眼科

診療時間

午前／9時00分～12時30分

午後／3時00分～6時00分

△土曜午後は2時～5時

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	△	×

休診日

木曜午後、日曜、祝日



■ 健康について

体を動かすことがお好きだとおっしゃる先生の趣味はボーリング。そして医者の不養生とならぬよう、メタボ予防のためにもエアロバイクで毎日40キロほど走ることを3～4年続けておられるそうです。

御尊父さまも実兄も医師で、診察する父の背中を見て育った先生。御尊父さまを習って地域に密着型の診療所として、今後もご活躍されることでしょう。

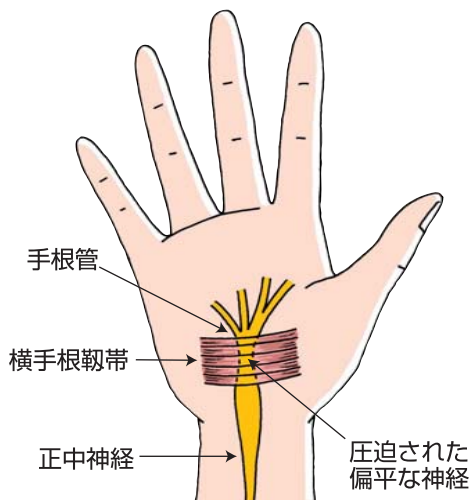


疾患別シリーズ 手根管症候群



リハビリテーション課
作業療法士
廣瀬 富子

正中神経が手首にある手根管というトンネルで圧迫された状態です。人差し指、中指を中心にしびれや痛みを認めます。親指、薬指に及ぶこともあります。この痛みの多くは、明け方に強く感じる場合があります。



セルフチェック1

手の甲と甲を合わせて、30秒から1分するとしびれ等の症状が悪化します。



セルフチェック2

手首をたたくとしびれ、痛みが指先にひびきます。



セルフチェックで所見を認める方は、手に負担のかかる動作は避けましょう。上記の症状を認める場合は、早めに医師に相談しましょう。

発信@
栄養管理室



管理栄養士
安田 明代

●よもぎ

よもぎは日本各地に自生するクク科の多年草ですが、食用となるのは春頃にでる若い芽や、やわらかい葉の部分です。

カロテン・鉄がほうれん草よりも多く、他にもビタミンB1、B2、C、E等が含まれています。またさわやかな香りも特徴的で、それを生かした代表的な食べ物が草もちです。

ただしあくが強いので、塩や重曹を入れた熱湯で茹でてあく抜きをしますが、春先にとれる新芽をお味噌汁の浮き身や、てんぷらにする場合はあく抜きしなくても美味しく食べられます。

ピックアップ食材
よもぎ

よもぎガレット

【材料】4人分

そば粉	100g
A { 卵	1個
塩	小さじ1/2
無塩バター	20g
<small>(有塩バターの場合は塩を控える)</small>	
牛乳	250cc
よもぎ粉末	10g
ごま油	適量

サラダ

ロースハム	4枚
卵	2個
大根	中1/2本
水菜	2株
人参	中1/2本
ミニトマト	16個
ゴマドレッシング	大さじ4

【栄養成分】1人分

エネルギー	340Kcal
たんぱく質	15.7g
脂質	18.4g
塩分	2.1g
食物繊維	3.3g



- よもぎ粉末をぬるま湯で戻し、こす（戻した汁も使用するの
で残しておく）
- バターは湯せんにかけるか、電子レンジで溶かしておく
- 牛乳・卵は室温にもどす
- ボールにそば粉を入れ真中にくぼみを作る
- くぼみにAを入れ泡だて器で粉を少しずつ混ぜ、溶かしたバ
ターも加え混ぜる（この時点で全て混ぜることはできず、粉
はまだ残っています）
- そこへ牛乳を少しずつ加えていき、⑤と同様に混ぜる
- 次に①のよもぎと戻し汁大さじ3を加えダマのないように均等に
混ぜる
- すべて混ぜたらボールにラップをして冷蔵庫で2時間ほどお
き、焼く20分前に冷蔵庫から取り出す
- フライパンにゴマ油を入れ熱し、キッチンペーパー等で余分
な油を取り除く
- 生地を一度かき混ぜ、玉じゃくし約1杯程度⑨に流し入れ中
火で焼く
- 表面が乾き周りが浮き上がってきたら竹串等で裏返し焼く
- 軽く色づいたらフライパンより取り出す
- サラダを盛り付け、ドレッシングをかけて包みできあがり

看護部の理念のもと、患者さん中心の看護サービスの提供に取り組んでいます。看護部

では、患者さんの信頼と満足を得るため、看護実践の一つひとつを積み上げ、社会人として成長できるようさまざまな研修や教育に力を注いでいます。ナースには「人を想う心を持ち続ける」「常にチャレンジ精神をもち取り組む」を基本姿勢として成長してほしいと願い、私たちはこの実現を目指した教育環境と職場環境を整備することに努めています。

鈴鹿回生病院の看護部

当院の看護部の理念に基づいた取り組みや部署紹介、ナースの声などを連載で紹介いたします。vol.5では、「男性看護師」を紹介します。女性の社会進出が珍しくなくなった昨今ですが、男性が「女性が活躍する場所」に進出するケースも増えてきました。当院でも年々男性看護師が増えています。今回は救急外来看護師のインタビューです。

Q1 看護師としてのやりがい・役割は？

救急外来を受診する患者さんとそのご家族は、急病によってとても不安を感じています。その方たちと関わる

ことで不安を軽減し安心を与えることです。精神的な関わりを大切にしています。

Q2 当院に就職して良かったことは？

尊敬できる先輩・仲間に出会えたこと。仕事・プライベート共に充実した日々を送っています。

Q3 看護師を目指した理由は？

人と携わる仕事がしたかったため。高校生の時に看護師になりたいと思いましたが、当時は男性看護師も少なく、看護の道に飛び込む勇気がありませんでした。その後、どうしても看護師になりたくて看護の道に進みました。

Q4 最近嬉しかったこと？趣味は？

趣味はゴルフです。嬉しかったことはホールインワンしたことです。



佐野 慎也



いしそつう 医志蘇通

Column

ご意見にお答えします。

Q 薬の種類が多いので、薬の名前の下に写真を入れてほしい。

A ご意見ありがとうございます。
薬剤の写真を薬剤情報提供書に表示できるようにシステム入替の準備中です。準備が整い次第、写真表示を致します。今しばらくお待ちください。

◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

5 B病棟でお世話になることができ、うれしく思います。一番うれしく感じたことは、手術室に入って、最後に「行ってらっしゃい」と言ってくれた時に、顔を上げて看護師さんを見たら、最高の笑顔で私を見送ってくれていました。心配、不安が飛んでいっちゃいました。ありがとう。

A お褒めの言葉をいただきありがとうございます。今後も患者さんの立場に立った治療と看護に努めてまいります。

名古屋大学 磯田教授による MRI 講演会開催

当院では最新型 3.0T-MRI を昨年導入しました。そこで、MRI 診断や撮影技術の研鑽や地域医療を向上するため、2月1日(火)名古屋大学医学部保健学科教授 磯田治夫先生をお招きし、頭部・頸部の動脈に関する臨床や研究について講演いただきました。



院内感染セミナー

2月3日(木)、院内感染対策講演会を開催いたしました。名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部八木哲也准教授を講師としてお招きし、「より良い感染制御を目指して」というテーマでご講演いただきました。今後の診療や看護にとって非常に有意義な講演会となりました。



第11回鈴鹿市脳卒中市民講座開催

今年は「突然の災難、脳卒中と戦う」をテーマとして当院、金丸憲司副院長をはじめ5名の脳卒中専門医により脳卒中に関する話題をわかりやすく講演いたします。どなたでも参加自由となっておりますので、ぜひご参加ください。

日時 ◆平成23年4月23日(土) 午後1時～
場所 ◆鈴鹿市文化会館 けやきホール

入場料無料

三味線クラブ「響」



1月29日(土)当院の三味線クラブ「響」が、ボランティア活動の一環として「聖マツテヤ心豊苑」へ訪問しました。



かいせいきっず info

今回の作品はひな祭りです。子供たちのかわいい作品に春の訪れを感じますね。次回もお楽しみに!



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

編集後記

今回は「脳神経外科パート②」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等ございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地
TEL059-375-1212
✉ mailinfo@kaiseihp.com

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします